

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和5年度においては、小中学校や青少年野外活動センターなど次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による小中学校の椅子や机等整備を実施しました。
- ▶ また、区役所や交流会館といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、キッズスペースの備品や屋外ウッドデッキの整備を実施しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した庁舎内装および什器の木質化

・国産木材を活用して区役所庁舎の1階・2階待合スペースを中心に、内装の木質化や木製什器を導入する等の環境整備を行うことにより、国産木材の利用促進につなげた。

【事業費】45,682千円（うち譲与税45,682千円）

【実績】東淀川区役所庁舎

- ・カウンター、記載台、ベンチ、掲示板、エレベーター、柱等の木質化
- ・木育ワークショップの実施



□ 事業スキーム

- ・公募型プロポーザル事業
- ・匿名随意契約

□ 工夫・留意した点

- ・区民が訪れること、あるいは目にすることが多い場所を重点的に整備することで、来庁者に木材をより身近に感じてもらえるようにした。
- ・整備にあたり、子どもを対象にした木育ワークショップを開催し、SDGsの17の目標や、森林が果たす重要な役割及び林業が抱える課題について学びつつ、子どもたちに木材の染色体験を行っていただいたものを、ベンチや柱の装飾として取り入れた。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：310,620千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より